

日比谷総合設備のDNAを強みに、 真のトータルエンジニアリング企業を目指します。



日比谷総合設備のCSRに対する基本的な考え

当社グループの「CSR報告書2011」をご高覧いただきまして、誠にありがとうございます。また、東日本大震災により被災されたみなさまに心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当社は、2011年創立45周年を迎えることができました。CSRの考え方を基盤として制定した『HIBIYA Vision』も5年の歳月を経て、着実に根付きつつあります。当社グループでは引き続き『HIBIYA Vision』をベースに、経済・社会・環境面のいずれにおいてもCSRを軸としてお客様・株主・従業員・取引先および地域社会・地球環境にいたるまで重視した活動を進めることで、企業としての社会的責任を果たすとともに、日本社会の復興・発展に全社一丸となって貢献したいと考えています。

経済的側面の状況と取り組み

建設業界は、民間市場において厳しい環境が続いた一方で、官公庁に関しては、事業仕分けなどにより公共投資が抑制され、全体として市場規模は縮小傾向にありました。そうした中で、当社は、さまざまな業務の見直しや、原価管理の徹底等により収益力の強化に取り組みました。営業活動では、環境ソリューション部の体制強化を図り、改正省エネ法の本格的運用などに伴い需要が高まっている環境関連のコンサルティングや診断、「エネルギーの見える化」といった切り口による提案営業を軸として新規顧客の開拓・案件掘り起こしを強めてまいりました。また、「NTTグループとのコラボレーション営業」で官庁・民間からの受注を増やすよう努めており、当期は、NTTファシリティーズ社との協力で大型案件を受注するなど、着実に成果が上がってきております。さらに、新たな領域への成長戦略として、2010年6月にHITエンジニアリングを完全子会社化

して、グループ力の強化を図ったほか、同9月には当社初となるESCO案件への参画を実現しました。このほか、今後の成長が期待される太陽熱事業への進出を目指し、当社の技術研究所において実証実験を開始しています。

社会・環境面での取り組み

安全・品質面に関しては、サーバールーム用高性能空調機・制御盤などの実機を備えた体験型研修センターを設置し、「見て」、「触って」、「実感させる」ことにより、技術力の維持・向上を図るなど、安全・品質の確保に向けたさまざまな施策を実施しました。また、「人命尊重」を基本とした安全活動を推進し、協力会社のみならずとも今後も引き続き無事故・無災害を目指し取り組んでいきます。

また当社は環境に深く関わる企業として、2010年6月に環境方針を変更し、環境・エネルギー分野の事業を積極的に推進することにより、お客様の省エネルギー推進とCO₂削減のニーズに応え、低炭素社会の実現に向けて貢献することを宣言しました。

コンプライアンスについては、従業員を対象とした階層別研修・情報セキュリティ教育等を実施して、すべての従業員が高い倫理観を持って行動すべく社内体制の強化、意識の高揚などコンプライアンスの浸透・定着・徹底に努めました。また、「社内体制の見える化」として、社内掲示板等(イントラネット)を活用して、お客様からの様々なご意見・従業員からの提案や事業活動を通して得られる情報などを全社で共有し、今後の取り組み改善に活かしています。



3月11日に発生した東日本大震災への対応

震災対策については、地震発生後直ちに私を本部長とする災害対策本部の立ち上げをはじめ、東北支店での現地本部の設置、情報収集・復旧対策の開始まで、迅速な対応を行いました。3月末に現地の状況を視察しましたが、当社グループ従業員は重要な社会インフラである電気通信施設の復旧・復興作業に誇りと使命感をもってあたっており、着実にまた確実に作業を進めているという印象を持ちました。また、NTTグループ以外のお客様の施設についても、多くの復旧作業の依頼を受けており、引き続き積極的な対応をしていきます。こうした応急復旧支援活動に邁進しつつ、今後想定される

本格的な復旧・復興へ迅速な対応を講じるため、2011年5月に「震災復興推進室」を新設し、全社的な支援活動の展開を推進していきます。

第4次中期経営計画の基本的な指針

第3次中期経営計画の成果を基礎とし、さらなる成長を目指して新たに「第4次中期経営計画」がスタートしました。この計画では、「HIBIYA Vision」で示した当社グループの理想とする姿、すなわち「より多くのお客様より“ベストパートナー”と呼ばれる会社」「常に新たな技術・分野に挑戦し続ける会社」を目指すという基本理念を再認識し、これまでの中期経営計画の下で蒔いた成長の種を具現化して収益性を維持しつつ、将来的な売り上げの拡大へと繋げていきます。



世の中の大きなトレンドに着目し、当社の強みを具現化する6つの領域、「データセンター、オフィスビル、生産設備、医療・福祉施設、教育施設、米軍」と、3つの成長分野、「スマートシティ創出、ヘルスケア領域、海外展開」に注力して、さらなる事業機会の創出を目指します。そしてグループの強みを生かしたトータルソリューション営業の強化、生産力の効率化・高度化による利益額の確保、安全品質の向上、人材の育成等成長を支える基盤の強化を目指します。また、株主のみならず対してはより安定的な株主還元策を進めていきます。

さらなる持続的発展に向けて

今後は『HIBIYA Vision』の理念の浸透をさらに推進し、日比谷総合設備株式会社の従業員一人ひとりが事業活動を通して、コンプライアンスの意義、情報セキュリティの重要性等をしっかりと意識し、日常の中で何をすべきかを考えて行動できるように安全・健康への配慮、意識の醸成を推進する研修等を実施していきます。

また、当社は多くのお客様からこれまでの実績に対し高い評価をいただいております。とりわけ、世界最先端の情報通信サービスを提供するNTTグループからは、寸分の誤りも許されない非常に高いレベルでの品質や信頼性を求められており、これまで同様これからもそのご期待に応え続けていく所存です。災害時における重要な社会インフラの根幹である電気通信施設の建設・維持や省エネ・CO₂削減の推進などを当社に課せられた社会的使命として認識し、こうした意義の高い事業に携わってきた喜びと誇りを胸に、新たなチャレンジとCSR活動を行動レベルで実現していきます。

日比谷総合設備株式会社
代表取締役社長

野村 春紀

